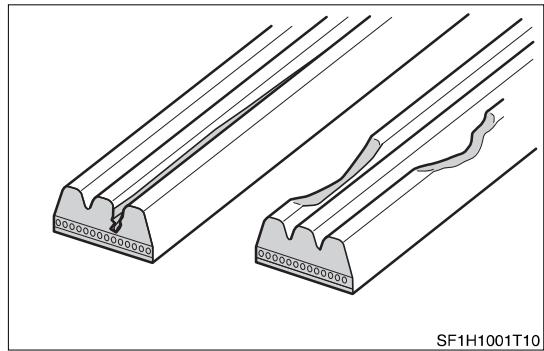


1-3-2 エアコン コンプレッサ ベルト張力(たわみ量)点検・調整

【参考】・Vリブド ベルトの張力調整は不要です。

1. エンジン アンダ カバーRHを取り外す。
(I2.5-1-2 項 (I2-18 ページ) 参照)
2. Vリブド ベルトの汚れ、オイル付着および亀裂や損傷、磨耗を点検する。

【注意】・他の車両で使用したVリブド ベルトを再使用しない。



1-3-3 マグネット クラッチ ステータ点検

1. マグネット クラッチ ステータに汚れ、オイル付着および劣化や損傷を点検する。

1-3-4 マグネット クラッチ エア ギャップ点検・調整

1. コンプレッサAy W/マグネット クラッチを取り外す。
(K1.5-1-3 項 (K1-28 ページ) 参照)
2. ダイヤル ゲージをマグネット クラッチ ハブに垂直に設置する。
3. マグネット クラッチのコネクタ端子をバッテリー プラス端子に、コンプレッサのボデー アースをバッテリー マイナス端子に接続し、マグネット クラッチを作動させたときのエア ギャップを点検する。

【基準】

$$0.5^{+0.15}_{-0.20}\text{mm}$$

4. 基準値以外の時はマグネット クラッチ ハブを外し、プレート ワッシャで調整する。

【注意】・プレート ワッシャの使用枚数は3枚以下。

5. コンプレッサAy W/マグネット クラッチを取り付ける。

(K1.5-1-3 項 (K1-28 ページ) 参照)

1-3-5 デフロスタ作動点検

1. IG SW"ON"、ブロワSW"ON"、吹き出し口モード"DEF"にしたとき、デフロスタ吹き出し口より風が吹き出すことを点検する。
2. ブロワSWの操作に応じて風量に変化することを点検する。

1-3-6 イオン ジェネレータ機能点検

【注意】・機能点検は、イオン ジェネレータ系統に関する点検であり、イオンが正常に発生しているかの点検は行えない。そのため、点検結果がすべて正常であっても不具合が解消されない場合は、イオン ジェネレータを交換し再度確認する。

- ・イオン ジェネレータの電極面(イオン放出面)に触れると性能が低下するおそれがあるため、触らないように注意する。

